

2023年度（令和5年度）

産業・地域版デジタル化実行計画 評価報告書

産業のデジタル化

【総括（評価のまとめと今後の方向性）】

【企業経営の高度化】

市内企業での自由な働き方の推進や新たな価値の創出に向け、引き続きセミナーでの事例紹介やITツール導入の補助を実施した。またコロナ収束を受け、積極的に対面で事業を実施し、技術や事例を直接見られる現地見学会や中小企業向けデジタルサービスの展示会・商談会を開催した。参加企業等の目標は達成したが、導入につながらないことが多く、導入につなげるのが課題である。引き続き、中小企業の業務効率化に資するサービスの導入を希望する企業に対して、体験機会の提供の拡充など実装支援することで、導入につなげる。

【市外から人を呼び込む産業づくり】

デジタル化推進会議では、引き続き産業・地域分野の関係団体の意見を取り込みながら事業の改善や立案を行った。会議での意見を踏まえ、新たに地域課題の解決に向けた地元企業とスタートアップ企業が連携した実証実験を実施した。また、市内企業が、首都圏等の人材と課題解決に取り組む「ふくやまビジネスキャンプ」を実施した。今後は、企業の生産性を向上させるAI等の技術に知見を持つ人材と市内企業との交流を促し、企業の課題解決の新たな事例の創出に取り組む。

【産業のデジタル化をけん引する人材育成】

中小企業のデジタル人材育成については、備後圏域の産業支援機関と連携した出張セミナーやAI導入講座を引き続き開催した。今後は、中小企業のデジタル化実装支援と一体的に実施し、企業が直接導入するツールを活用できる人材育成につなげる。

将来を担う人材育成については、子どもから学生までを対象に、デジタル技術等の体験イベントやプログラミングイベントを引き続き実施した。今後は、地元大学や高校との連携を強化することで、コンテンツ内容の充実や継続した学びの場を提供する。

【評価結果一覧】

基本方針	施策	事業数	評価
1 企業経営の高度化	(1) 業務効率化や働き方改革支援	9	B
	(2) 情報発信・採用活動のデジタル化支援	3	C
	(3) 事業モデルの転換支援	2	C
2 市外から人を呼び込む産業づくり	(1) 産学官連携と実証実験の推進	6	A
	(2) デジタル観光コンテンツの開発と発信	1	D
3 産業のデジタル化をけん引する人材育成	(1) 企業のデジタル人材育成支援	2	A
	(2) デジタルを学ぶ機会の提供	3	B

ー評価方法についてー

① 各施策に位置付く事業の目標達成率を算出し、点数化

5点（◎）：達成率 100 %以上

4点（○）：達成率 80 %以上 100 %未満

3点（△）：達成率 60 %以上 80 %未満

2点（×）：達成率 60 %未満

② 施策ごとに平均点を算出し、評価

A：平均 4.5 点以上

B：平均 3.5 点以上 4.5 点未満

C：平均 2.5 点以上 3.5 点未満

D：平均 2.5 点未満

基本方針 1 企業経営の高度化

施策名		2023年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(1)業務効率化や働き方改革支援		【中小企業の業務効率化】 ・びんごデジタルラボでは、従来のセミナー形式による事例紹介に加え、デジタル技術展示会を開催し、約500人が来場した。 ・デジタル企業現地見学会では、参加者数が目標を達成し、参加企業のうち6社がその後のデジタルツールの実装につながった。 ・ICT相談所では、産業支援機関と連携した出張相談により、目標数値をおおむね達成したが、相談後に実装につながらないことが多く、実装につなげるための取組が必要である。 【農林水産関連】 ・スマート農業技術の導入支援では、支援対象を畜産業や水産業に拡大したが、目標達成に至らなかった。制度利用者を増やすための取組が必要である。 ・有害鳥獣対策では、地域へ捕獲検知器の導入を開始したが、導入件数が目標達成に至らなかった。導入件数を増やすための取組が必要である。 ・ニホンザル被害対策では、GPSを活用した生息域調査や捕獲計画の作成を実施し、目標を達成した。		【中小企業の業務効率化】 引き続き、デジタル化の導入事例を現場で見る機会を提供する。また、中小企業に関心の高いツールを体験できるセミナーの開催と希望する企業に対する伴走支援を一体的に実施することで、実装件数の増加に取り組む。 【農林水産関連】 ・スマート農業技術の導入支援では、支援を必要とする農業者に直接周知するなど、制度利用者の増加に取り組む。 ・有害鳥獣対策では、地域のニーズ把握や導入効果の周知などを実施することで、導入件数の増加に取り組む。 ・ニホンザル被害対策では、データ分析による大型檻の効果的な設置場所の特定など、加害群の捕獲に向けた準備に取り組む。				
				評価		B		
個別事業名		事業概要	目標スケジュール		2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度
①	中小企業デジタル化意識醸成事業（びんごデジタルラボ）	デジタル化に関心のない企業にも分かる事例等のセミナーを開催	セミナーの参加企業数（累計）	実績値／目標値	－	90社／120社	他事業へ統合	
				達成状況	－	△		
②	産業別デジタル化事例研究事業（びんごデジタルラボ）	デジタル化を議論する場をつくり、課題や成功事例等を共有	参加企業数	実績値／目標値	164社／150社	129社／180社	341社／210社	－／240社
				達成状況	◎	△	◎	－
③	デジタルツール導入促進・支援事業（びんごデジタルラボ）	HPで企業の導入事例を紹介し、現地に導入の疑問に答える人材を派遣	支援件数（累計）	実績値／目標値	－	19件／20件	67件／40件	－／60件
				達成状況	－	○	◎	－
④	「びんごICT 相談所」の運営	ICTの導入等の個別相談に応じる電話・Webでの相談窓口を運営	企業からの相談件数（累計）	実績値／目標値	33件／60件	62件／140件	172件／180件	－／360件
				達成状況	×	×	○	－
⑤	産業支援コーディネーターの派遣	企業の課題を相談できる、経営等専門知識を持った人材を派遣	相談企業数（市内）	実績値／目標値	102件／70社	107社／75社	114社／80社	－／85社
				達成状況	◎	◎	◎	－
⑥	ITツールの導入支援（ふくやま IT 導入支援事業補助金 ほか）	IT ツールの導入等にかかる費用の一部を補助	補助件数	実績値／目標値	463件／400件	11件／10件	9件／10件	－／10件
				達成状況	◎	◎	○	－
⑦	第一次産業スマート化技術の導入支援（生産性向上支援事業費補助）	スマート農業技術を導入する経費の一部を補助	事業利用者数（累計）	実績値／目標値	3件／3件	4件／6件	5件／9件	－／12件
				達成状況	◎	△	×	－
⑧	デジタル技術を活用した有害鳥獣対策	捕獲の労力軽減や効率化を図るための検知器の実証実験や導入	有害鳥獣対策のための、現場に合った出沒・捕獲検知器の実証と導入	実績値／目標値	出沒検知器の実証実験	捕獲検知器の実証実験／出沒検知器及び捕獲検知器の実証実験	4件／8件	－／8件
				達成状況	×	×	×	－
⑨	ニホンザル被害対策	ニホンザル加害群の捕獲のための調査、捕獲計画作成及び捕獲準備	加害群の捕獲のための調査、捕獲計画作成及び捕獲準備	実績値／目標値	－	－	生息域調査及び捕獲計画の作成／生息域調査及び捕獲計画の作成	－／大型檻の設置及び加害群の捕獲準備
				達成状況	－	－	◎	－
⑩	中小企業向け「デジタル企業現地見学会」の開催	デジタル活用の現場見学や導入時の課題等の意見交換の場を提供	参加者数	実績値／目標値	－	－	44人／40人	－／40人
				達成状況	－	－	◎	－

基本方針 1 企業経営の高度化

施策名	2023年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(2)情報発信・採用活動のデジタル化支援	【オンライン合同企業説明会の開催】 ・情報発信の強化や参加対象者の拡大等などに取り組んだが、行動制限の緩和に伴う対面での説明会のニーズが高まっていることから、参加者の増加につながらなかった。引き続き、参加者を増やすための取組が必要である。 【採用活動支援】 ・Webインターン等コンテンツの開発支援は、参加企業数が目標達成に至らなかった。参加企業数が限られていたため、事業内容の見直しが必要である。 ・Web採用活動支援事業補助は、目標を上回る利用があり、企業PR動画の配信などオンラインでの採用情報の発信につながっている。		【オンライン合同企業説明会の開催】 ・大学との連携を強化し、現役の大学生に直接周知をするなど、参加者の増加に取り組む。 【採用活動支援】 ・WebインターンやWeb採用ページの作成など、オンラインを活用した採用活動を一体的に支援できるよう事業内容の見直しを行うことで、支援の拡大に向けて取り組む。				
評価							
C							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール		2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度
① オンライン合同企業説明会の開催	オンラインによる合同企業説明会を開催し、参加企業の情報を配信	参加者数	実績値／目標値	330人／350人	130人／400人	83人／450人	－／500人
			達成状況	○	×	×	－
② Webインターン等コンテンツの開発支援	Webインターン等のコンテンツ開発のためのワークショップを開催	インターン等コンテンツ開発企業数	実績値／目標値	4社／4社	3社／5社	3社／6社	－／7社
			達成状況	◎	△	×	－
③ Web採用活動支援事業補助	企業のHPの採用情報の新設や動画作成等に係る経費の一部を補助	補助件数	実績値／目標値	－	119件／25件	23社／20件	－／20件
			達成状況	－	◎	◎	－

基本方針 1 企業経営の高度化

施策名	2023年度 実施状況の総括			今後の方向性			
(3)事業モデルの転換支援	【中小企業の販路開拓支援】 ・国内や海外などの展示会出展に係る補助支援を実施し、販路拡大を促進した（国内17件・海外2件・オンライン0件）。 【6次産業化に係るEC導入等の販路拡大支援】 ・関係団体等と連携した周知などに取り組んだが、目標達成に至らなかった。引き続き、制度利用者を増やすための取組が必要である。			【中小企業の販路開拓支援】 ・引き続き販路拡大に向けた支援に取り組む。 【6次産業化に係るEC導入等の販路拡大支援】 ・外部アドバイザーの意見を取り入れながら、効果的な周知を実施することで、利用者の増加に取り組む。			
評価							
C							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール		2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度
① 中小企業の販路開拓支援	新規事業開拓のために必要な展示会出展に係る費用の一部を補助	補助件数	実績値／目標値	8件／10件	9件／10件	19件／20件	－／20件
			達成状況	○	○	○	－
② 6次産業化に係るEC導入等の販路拡大支援（6次産業化推進・設備整備等事業）	商品の生産・企画・開発・販路拡大等に係る経費の一部を補助	新商品開発及び販路拡大への取組件数（2021年度のみ新商品開発件数）	実績値／目標値	4件／5件	5件／10件	2件／10件	－／10件
			達成状況	○	×	×	－

基本方針 2 市外から人を呼び込む産業づくり

施策名	2023年度 実施状況の総括			今後の方向性			
(1)産学官連携と実証実験の推進	【産学官連携の促進】 ・デジタル化推進会議では、産業・地域の関係団体の意見を踏まえ、2件の事業を立案し、目標を達成した。 ・ふくやまビジネスキャンプでは、首都圏等のデジタル人材と市内企業のアイデアソンを開催し、参加企業5社の課題解決に向けたプロジェクト計画を作成した。 【ふくやま実験クエストー課題解決実証実験ー】 ・地域課題の解決に資する企業等の実証実験の支援を実施し、目標を達成した。			【産学官連携の促進】 ・デジタル化推進会議で聴取した関係団体の意見を随時事業に反映するなど、引き続き柔軟な事業推進や事業の立案に取り組む。 ・デジタル化推進会議の委員意見を踏まえ、企業の生産性を向上させるAI等の知見を持つ人材と中小企業との交流を促すことで、新たな事例の創出に取り組む。 【ふくやま実験クエストー課題解決実証実験ー】 ・引き続き地域課題の解決と企業の実証実験支援に取り組む。			
評価							
A							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール		2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度
① 「びんごデジタルラボ」の運営	成功事例の共有や課題の議論の場に備後圏域外企業を呼び込む	びんごデジタルラボに参画する備後圏域外企業数（累計）	実績値／目標値	8社／10社	17社／20社	32社／30社	－／40社
			達成状況	○	○	◎	－
② 「デジタル化推進会議」の開催	デジタル化関連事業の改善や事業立案のための会議の運営	事業立案件数（累計）	実績値／目標値	－	4件／2件	6件／6件	－／8件
			達成状況	－	◎	◎	－
③ 実証実験まるとサポート事業	実証実験に必要な場所の提供など、民間企業の実証実験を支援	サポート事業の実施件数（累計）	実績値／目標値	15件／15件	16件／25件	17件／20件	－／24件
			達成状況	◎	△	○	－
④ 「ふくやまビジネスキャンプ」の開催	デジタル人材と市内企業が交流するアイデアソンの開催	参加企業数（累計）	実績値／目標値	13社／15社	28社／30社	33社／45社	－／60社
			達成状況	○	○	△	－
⑤ サテライトオフィスへの企業誘致	サテライトオフィス等の開設や運営等に係る経費の一部を補助	サテライトオフィスを利用する企業数（累計）	実績値／目標値	－	17社／10社	40社／20社	－／25社
			達成状況	－	◎	◎	－
⑥ ふくやま実験クエストー課題解決実証実験ー	地域課題解決に資する先端技術等を活用した企業等の実証実験を支援	実証実験の件数	実績値／目標値	－	－	2件／2件	－／2件
			達成状況	－	－	◎	－

基本方針 2 市外から人を呼び込む産業づくり

施策名	2023年度 実施状況の総括			今後の方向性			
(2)デジタル観光コンテンツの開発と発信	【デジタル観光マップの整備】 ・新規スポットの登録やチラシなどを活用した周知に取り組んだが、目標達成に至らなかった。従来の利便性向上や既存の周知方法だけでなく、デジタル観光マップの認知度向上につながる取組が必要である。			【デジタル観光マップの整備】 ・混雑状況等をリアルタイムで把握できる機能を実装し、利便性向上を図るほか、デジタル観光マップを活用して、世界バラ会議に関連したスポットを巡るスタンプラリーを実施するなど、認知度向上に取り組む。			
評価							
D							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール		2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度
① オンラインツアー活用促進事業費補助	福山の観光資源と観光客をオンラインでつなぐツアーの実施	オンラインツアーの利用者数（累計）	実績値／目標値	－	101人／100人	終了	
			達成状況	－	◎		
② デジタル観光マップの整備（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	Webサイトから閲覧できるデジタルマップに、見どころ、経路案内などの観光関連情報を表示	マップPV 数	実績値／目標値	71,174／71,174	289,585／105,000	71,579／158,000	－／237,000
			達成状況	◎	◎	×	－

基本方針 3 産業のデジタル化をけん引する人材育成

施策名	2023年度 実施状況の総括			今後の方向性			
(1)企業のデジタル人材育成支援	【中小企業向け「びんごデジタルラボ・アカデミー」の開催】 ・開催回数の増加や企業ニーズを踏まえたツール選定、企業団体等と連携した周知を実施し、目標を達成した。実装件数を増やすための取組が必要である。 【「ものづくり大学」の実施】 ・講座数の増加や活用事業者のニーズに合わせたオーダーメイドセミナーを提供するなど講座内容の拡充に取り組み、参加者が増加した。			【中小企業向け「びんごデジタルラボ・アカデミー」の開催】 中小企業に関心の高いツールを用意し、体験できるセミナーを開催するほか、希望する企業に対して伴走支援を実施することで、実装件数の増加に取り組む。 【「ものづくり大学」の実施】 ・アンケート結果を踏まえた講座内容の見直しや経営者に向けた周知を実施し、引き続き活用事業者のニーズに合わせたセミナーの提供に取り組む。			
評価							
A							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール		2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度
① 中小企業向け「びんごデジタルラボ・アカデミー」の開催	デジタルツールを活用した業務効率化の実践セミナーの実施	企業向けアカデミーへの参加者数（累計）	実績値／目標値	－	55人／60人	258人／140人	－／240人
			達成状況	－	○	◎	－
② 「ものづくり大学」の実施	AI 導入に関するセミナーやシステム構築や導入研修等の実施	参加者数（デジタル関係）	実績値／目標値	108人／100人	184人／200人	194人／200人	－／250人
			達成状況	◎	○	○	－

基本方針 3 産業のデジタル化をけん引する人材育成

施策名	2023年度 実施状況の総括			今後の方向性			
(2)デジタルを学ぶ機会の提供	【専門知識を有する人材によるプログラミングイベントの開催】 ・小・中学校等の子どもたちを対象にプログラミングイベントを開催し、参加者数が目標を達成した。また、イベント内容に関するアンケート結果も好評であった。 【「びんごキッズラボ」の開催】 ・地元の大学及び企業との連携やコンテンツ内容の充実などに取り組み、参加者数が目標を大きく上回った。（仮称）子ども未来館の機運醸成に向けた持続可能な開催が課題である。			【専門知識を有する人材によるプログラミングイベントの開催】 ・アンケート結果を踏まえたイベント内容の改善を図りながら、継続した学びの場の提供に取り組む。 【「びんごキッズラボ」の開催】 ・地元大学や高校との連携を強化することで、コンテンツ内容の充実や持続可能な開催に取り組む。			
評価							
B							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール		2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度
① 専門知識を有する人材によるプログラミングイベントの開催	小・中学校等の子どもたちを対象としたプログラミングイベントの開催	参加者数（累計）	実績値／目標値	108人／30人	146人／45人	184人／165人	－／185人
			達成状況	◎	◎	◎	－
② 企業と連携したデジタル講座の開催	大学生を対象としたデジタル講座の開催	参加者数（累計）	実績値／目標値	59人／50人	119人／100人	119人／150人	－／200人
			達成状況	◎	◎	△	－
③ 「びんごキッズラボ」の開催	子どもを対象としたデジタル技術等体験イベントの開催	参加者数	実績値／目標値	579人／500人	1,399人／1,000人	1,905人／1,000人	－／1,000人
			達成状況	◎	◎	◎	－